

語 研 便 り

大東文化大学 語学教育研究所広報（2020 年 12 月）

研究発表会のお知らせ

2020 年度、第 3 回研究発表会を下記のとおりオンラインで開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時：2020 年 12 月 14 日(月) 午前 10 時 30 分～

参加方法：本発表会は学内限定で Zoom を使用して開催します。
Zoom の URL、ミーティング ID 等は別途メールでお知らせします。
ご不明な点は、語学教育研究所までお問い合わせください。

①発表者：ロバート・シグレー 先生（外国語学部 英語学科）

題 目：The progress of Japanese university students majoring
in English.

②発表者：梅本 孝 先生（外国語学部 英語学科）

題 目：英語における「動詞(V)+目的語(O)」と
「動詞(V)+前置詞(P)+目的語(O)」との差をめぐって
— iconicity（類像性）に沿って考える—

③発表者：井上 尚子 先生（語学教育研究所 学外研究員）

題 目：日本の大学において留学生であるということ
— 留学経験を支える「コミュニティ」—

※要旨は次ページに掲載しています。

① 発表者： **ロバート・シグレー 先生（外国語学部 英語学科）**

題 目： **The progress of Japanese university students majoring in English.**

内 容： This presentation attempts to measure progress in English grammar, vocabulary, and reading comprehension among English majors after their first three years of study. Tests were constructed from items previously used in Daito's English entrance exams; administered to a large 3rd-year elective class; and the matched-item performance of the original exam candidates (high-school seniors) was taken as a baseline for comparison. The first two studies were reported in Sigley (2016: *Studies in Foreign Languages* 17, 165-182); the current presentation adds results of a follow-up study on (dialogue) reading comprehension. On all three tests, the university English majors performed little better on average than the high-school seniors. Students who had entered through entrance exams scored significantly higher on average than those who had entered through interview procedures; however, even the exam entrants showed no higher test scores on average than had the original exam candidates for the English department.

② 発表者： **梅本 孝 先生（外国語学部 英語学科）**

題 目： **英語における「動詞(V)+目的語(O)」と「動詞(V)+前置詞(P)+目的語(O)」との差をめぐって — iconicity（類像性）に沿って考える—**

内 容： The hunter shot the deer.と The hunter shot at the deer.の文には意味的な差があることが指摘されてきた。このような差を Langacker (1990)年によって指摘された grammar as image という考え方を利用して考察することを試みる。この考え方によると、与格交代の文章の Bill sent a walrus to Joyce.と Bill sent Joyce a walrus.の差はイメージでとらえられることになり、そのようなイメージを利用して V O と V P O の差を考察する。

③ 発表者： **井上 尚子 先生（語学教育研究所 学外研究員）**

題 目： **日本の大学において留学生であるということ
— 留学経験を支える「コミュニティ」—**

内 容： 日本の大学に学ぶ留学生が、どのようなコミュニティを彼/女らの留学生としての立場や生活の基盤と感じているのかについて、インタビュー手法を用いた探索的な調査を行ったので、その成果を報告する。そして、本調査からの知見が、日本語教育研究におけるコミュニティの概念に関する議論に対して持つ含意について考察する。

[お問い合わせ先] 語学教育研究所 E-mail : daitogoken@gmail.com

以上